

●5月14日にレンリソウ観察会を行いました。遠く伏見区の向島から、そして精華町の光台からご夫婦でのご参加でした。理事長の大村さんや理事の播川さんも揃い、約5kmのコースを案内しました。

新田辺駅から北に進み、記念病院を過ぎて防賀川に架かる橋の上で、内排水問題や川の新設によって湿田だった田圃が干田に替わって冬に麦作が作れる二毛作の食糧増産ができる農地になりました。その工事は朝鮮の労働者が厳しい雪の降る中、川つくりに通っていたことを説明しました。その橋の下をカルガモの親子12羽が下流に向かって、行列を組み、水面をスイスイと移動しているのがみんなの目に入りました。まさかの光景です。予想もしていなかったものに出会うことができました。次にヌートリアが水の中から顔を出してくれて、草むらで休憩をしてくれました。皆さんはそれぞれ初めての出会いだったので写真を撮るのに夢中でした。

この日に出合った草花はマツバウンランがそよ風にゆらいでいました。堤防では、ナヨクサフジが小さな塊で無数に見つかりました。今年は特にその姿(紫)が目立ちました。このままだとさらに広がってゆくのが予想されます。アカツメクサも負けずに繁茂していました。堤防上で一番目立たず繁茂していたのはコバンソウでした。そして本日参加された皆さんが目当てにされていたのが黄色のミヤコグサでした。堤防に上がると静かに沢山咲いていました。ヘラオオバコが自転車道との際に他の草を押しつけて揺らいでいました。

京田辺市付近の木津川堤防の特徴の一つが在来のジャコウアゲハ・黒い蝶です。そして朝鮮半島で生息するホソオチョウ・白い蝶が舞い飛ぶところがあります。二種類の蝶はウマノスズクサを食草にしているのです。以前にはウマノスズクサはかなり繁茂していたのですが、私たちが活動を始めたころと比べると少なくなっているようです。

今日の最大の目的のレンリソウに出合えることに期待をして5kmを進みましたが、開花には出会えなかったのが残念でした。少し時期が早かったようですね。



●5月15日に京田辺市の文化協会の「青葉の集い」が行われました。最初の指示計画では10mの展示面積で展示の指示がありました。第30回目の伝統ある取組でした。規模が大きくて大変だと驚き、里山の会としてどのように展示物を揃えるのかを真正面から検討しました。準備を整えて前日に展示現場を確認すると、中央公民館では幅が4mの掲示板の大きさになっていました。準備したものでしっかり展示ができました。お集まりになって準備にお越しいただいた皆さんや舞台発表を用意していただいた方々がほとんどでした。又出演者とそのスタッフの集合で一般客の観客があまりなく、自分達の出番が終われば観客席は寂しいものだったとの感想がありました。事務局会議では、取組の理解を得るためにと準備したけれど、思ったほどには効果が得られなかった、とのことでした。





結局 30 回目としてのメインの主張が無く人々を引き付ける魅力ある内容に弱さがあったようです。マンネリが目立ったのではないかと等と厳しい感想意見がありました。これらは里山の会も直面していることで、他山の石として、大いに学ばなければならない教訓が示された。いつも昨年通りではなくて、常に新鮮な取り組みが魅力になるのではないだろうかという意見がありました

**●里山の会員 各位 2022 年度の国交省淀川河川事務所の木津川出張所所長との話し合いについてご意見ををお願いします。**

日頃は本会活動に協力頂きありがとうございます。通常総会の成功に引き続いて新年度の活動も順調に滑り出し親子花見乗船体験、春の野草を食する会、木津川希少種植物調査の生育調査と春季除草作業、そしてレンリソウ観察会に続いて協力出展の青葉の集いも成功しました。

さて、例年行ってきました上記の件につきまして今年も開催を計画しています。そこで社員各位からご意見をいただき、話し合い、要点にまとめさせていただきます。日頃の活動でお気づきの点をお知らせくださるようお願いいたします。

返答はメールでお願いします。締め切り期日は 5 月 20 日でお願いします

**●里山農園で「カブ」について少しくちくを述べてみたいと思います。**

原産地は地中海沿岸・北欧などの説あり。丸い根が頭のようにになっているためにつけられたようです。漢方ではカブは胃腸を温め、内臓の働きをよくする作用があるほかに、また咳を止められのどの渴きを癒す効果があるようです。二日酔いでむかむかする時も効果があるらしいです。またカラオケなどで歌いすぎて喉の調子が悪いときに良いらしいです。

またキャベツは、原産地は地中海沿岸からヨーロッパの大西洋沿岸にかけてだといわれています。日本に入ってきたのは明治になってから本格的に栽培されるようになりました。別名「カンラン」(甘藍)とも呼ばれていました。食べると食物繊維も多くて便秘をよくするはたらきがあるようです。

**●近畿建設協会への 2022 年度の支援事業について 50 万円の申請を致しましたところ、非選定の結論に至りました。残念な結果になりました。**

**●摂南大学から「フィールド型アクティブ・ラーニング」を学習する新学部が設定される予定で、会員の野村治さんに協力要請があり、野村さんから里山の会に是非力添えをと依頼が届きました。**内容は現場で体験を通じて学ぶという方式で里山の会の様々なイベントなどを体験することから現在の学生たちが実際の学ぶ場を提供することらしいです。今の学生はこういう現場での体験が非常に少ないのでチャンスを用意するということらしいのです。大村理事長が中心の里山農園を利用すればいいのではないのでしょうか。学生たちと共に学びあえる機会が増えていくのではないのでしょうか。